



Sustainable Cities & Communities from KUSHとは

金沢大学附属高校では、2年生が「総合的な探究の時間」にグローバル課題研究と題し、“Sustainable Cities & Communities”（持続可能な社会と共同体）というテーマのもと探究活動を行っています。

歴史・文化、地域振興、経済、防災、環境、生活、NJC（シンガポールのNational Junior Collegeとの共同研究）の7つのゼミに分かれてそれぞれの研究を進めています。この記事は探究活動の様子やグローバル課題研究を多くの人に発信していくためのものです。

◆◇留学生とのディスカッション本番◆◇

8月28日（金）、留学生とのディスカッションが行われました。新型コロナの影響でZoomによる1対1のディスカッションとなりました。その間、生徒は異なるゼミの人とグループを組み、それぞれの研究について意見交換を行いました。

留学生とのディスカッションは15分という短い時間でしたが、研究について様々な質問や意見、フィードバックをいただきました。このディスカッションを通して、自分の研究の今後について改めて考え直すことが出来たように思います。

◆◇ディスカッションを終えて◆◇

今回はこのディスカッションの感想を個人研究を行う2人、共同研究を行う2人の計4人に伺いました。

英語でポスターを使い、発表することに対して、はじめは最終形態が論文なのに、なぜそんなことをするのかと考えていました。論文の状態の方が効率が良いのではないかと考えていたからです。しかし、今日のポスターセッションでは留学生の方から発表の仕方について、細かくたくさんのアドバイスを得られました。これは、これからの研究を進めていく上で、とても良い

経験だったと思います。生徒以外の、しかも外国の方という目線からくれるアドバイスの一つ一つが、自分の足りないところを実感させ、また今度はこうするという熱を与えてくれました。このディスカッションを活かしてこれからも頑張ろうと思います！



意外と自分の英語が通じることがわかり、嬉しかったです。また、外国の方の意見は、自分の研究をグローバルな視点で考える上で大きなヒントになりました。制限時間以上にもっと話したいと思うほど、有意義な時間となりました。

とても楽しく、たくさん学んだ15分間でした。海外にある自分たちの研究対象の現状を知ることが出来たので、今回学んだことを活かして自分たちの研究をよりグローバルに展開することを目指したいと思います。



私はタイの留学生の方とお話ししました。初めて会った人なのでとても緊張しました。しかし、相手の方は優しく最後まで話を親身に聞いてくださったため、私はとてもリラックスして私なりの発表ができたと思います。オンラインでのディスカッションだったため、聞き取れなかった部分もありましたが、私が「Pardon?」と聞き返すとゆっくり喋ってくれました。いつもとは違う形で慣れなかった部分もありましたが、相手の方の優しさで楽しい時間を過ごせました。また、いただいた質問やアドバイスを今後の研究に活かしていきたいと思いました。



生徒会公式Twitterではホームページの更新情報を発信しています！

是非フォローお願いします！

生徒会公式Twitter https://twitter.com/kfshs_scouncil

